

キャリアサポート

1年次からスタートする「キャリア教育」で、希望や適性に合った実り多い進路をサポート。

キャリア教育

これからの看護職の可能性を知り、看護師としての意識を高めていく。

病院や診療所、訪問看護ステーションはもちろんのこと、それ以外にも看護師が求められる場所が多くあります。たとえば、介護保険施設や在宅サービス事業所、保育所など。さらには、企業で働く看護師も増えてきました。本学では、1年次から就職ガイダンスを実施し看護職の可能性を認識させるとともに、職業に対する意識が高まるよう早い段階からキャリア教育を進めています。

福祉・地域分野

訪問看護ステーション／デイサービス等在宅サービス事業所／高齢者ケア施設／地域包括支援センター／児童・障がい者福祉施設／自治体／学校／企業 ほか

活躍フィールド

医療分野

病院／診療所／特定機能病院／地域医療支援病院／療養型病棟／ホスピス ほか

国際・研究分野

海外の医療機関／国内外の大学院進学／看護系の大学や養成所等の教育機関／研究所 ほか



卒業生が来学して講演や意見交換を行います。

support 1

早い段階から、なりたい看護師像をイメージする

将来の看護師像や働きたい病院を自発的に見出す力を引き出すため、4年間を通じて、計画的にキャリアデザインを進めていきます。初年次教育から始まり、2年次では実習での学びを生かし、なりたい看護師像をイメージし、それを遂げるための具体的な行動計画を作成。3・4年次の就職活動に向けての病院関連施設探しや社会人基礎力アップへとつなげていきます。

support 2

自分に合った病院を見極める力をつける

4年次では学生全員と面談し、一人ひとりに適した面接試験対策を講じます。看護師をめざす学生にとって重要なのは、自分の看護職者としての強みに気づき、他者との関係性が築けることと、自分に合った進路を見極める力です。看護職の活躍の場にネットワークを持ち、学生のこともよく知る教職員が学生と病院関連施設双方の特性を踏まえて一人ひとりの相談に乗ること、最適な就職の実現を図ります。

support 3

卒業生の就活履歴や就職後の状況も公開

卒業生の情報も就職活動の強い味方です。キャリアデザインの講義は卒業生や、認定看護師・専門看護師を招き、生きた情報に接する機会を設けています。また、立地のよい本学には卒業生の来校が頻繁にあり、先輩からのアドバイスを仰ぐチャンスが数多くあります。そして卒業後も大学と就職先である臨床現場との関係性をシーム(継ぎ目)レスにするために、往環型研修(シャトル研修)にも取り組んでいます。

Student's Voice



面接原稿のブラッシュアップから面接練習まで、キャリアセンターが個別にサポートしてくれます。

濱田 夕梨香さん | 4年次生 大阪府 私立東海大学付属仰星高校 出身

国立循環器病研究センター 内定

内定先は世界的な脳・心血管疾患の医療・研究機関。説明会で「大変だけど勉強する気があれば心臓のプロに育てる自信がある」といわれたことで興味を持ち、採用試験を受けることに。早速キャリアセンターで過去にこの施設を受けた先輩の就職活動報告書を確認すると、面接での質問事項が記載されていました。それを参考に面接の台本を組み立てると、キャリアセンターでその原稿をブラッシュアップしてもらえるとともに、履歴書のチェック、ロールプレイング形式の面接練習も個別に受けられました。自主的にインターンシップにも参加し、看護師さんの意識の高さや勉強の意欲に圧倒され、ここで学びたいという思いを一層強くしました。結果は無事に内定。「心臓のプロ」になれる日をめざして仕事に取り組みます。